

平成27年度 第1回
北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議
調整会議資料

(仮称)北九州市認知症支援・
介護予防センター設置について

平成27年8月20日(木)

北九州市保健福祉局

(仮称)北九州市認知症支援・介護予防センター設置について(案)

1. 設置に至る背景

平成11年10月、本市における「健康づくりの中核施設」として総合保健福祉センター内に健康づくりセンターを設置し、当時の課題であった生活習慣病対策を中心に、運動・栄養プログラムの提供やその実践指導、トレーニングルームの自由利用等を行ってきた。

その後、急速な高齢化に伴う認知症高齢者の増加や、支援を必要とする高齢者の増加が社会的な課題として捉えられるようになり、

○認知症や介護予防対策の重点化

○生活に身近な地域での活動支援

に力を入れた健康づくり施策への展開が必要となってきた。

また、民間スポーツクラブ等の増加やメタボリックシンドロームの認知度向上など、「健康づくり」を取り巻く環境も変化してきている。

これらの状況を踏まえ、健康づくりセンターを廃止し、市民センターを拠点とした健康づくりや地域をリードする人材の育成など、市民が身近な地域で実践できる取り組みに力を入れた施策(ソフト重視)への展開を図ることとした。

2. 認知症支援・介護予防拠点施設の設置

健康づくりセンター施設跡を活用し、第四次北九州市高齢者支援計画に基づき、認知症支援・介護予防を総合的に支援する全市レベルの拠点施設として「(仮称)北九州市認知症支援・介護予防センター」を設置する。

3. 開設日

平成28年4月1日(予定)

4. 役割

認知症の総合的な支援や全市的な介護予防の取り組みを推進するとともに、地域での市民や各種団体の実践を総合的にサポートする拠点としての役割を果たすため、

- (1) 専門的な知見に基づく具体的で分かりやすい情報の収集・発信
- (2) 専門職による栄養や運動などの技術的な支援や助言
- (3) 当事者間、専門職間、またそれぞれの団体間の交流の支援
- (4) 相互の関連性を意識した各種支援事業の体系化などを行う。

5. 具体的な事業内容(案)

〔認知症関係〕

- 認知症や介護に対する不安の軽減や心のケアを行う「認知症・介護家族コールセンター」の機能拡充
- 認知症の人や介護家族を対象とした交流会の開催や、地域のモデルとなる「認知症カフェ」の設置
- 「徘徊模擬訓練」のマニュアル提供や現地訓練開催の支援
- 軽度認知障害や若年性を含む認知症の正しい知識と予防の重要性、さらには当事者への接し方などを詳しく解説した情報発信
- 認知症サポート医を中心としたネットワーク作りと、認知症ケアの質向上を図るための人材育成 等

〔介護予防関係〕

- 認知症を自己チェックしながら行う予防教室や運動プログラムを学ぶ教室の開催
- 校区社会福祉協議会が行う高齢者サロン活動などの場を活用した専門職による運動方法等のアドバイス
- 医療レセプトや健診データ、教室参加者の体力データなどの収集・分析・評価に基づく新しい手法の開発や改善 等

〔共通事項〕

- 認知症サポーターやロコモ予防推進員など、地域での実践をリードする人材の養成
- 地元企業等の健康・医療・介護に関する新しい技術(介護ロボット等)について実証の場の提供
- (仮称)北九州市認知症支援・介護予防センターに関わる意見交換の開催 等

6. 今後の取り組みに向けた重点課題

- 全市的な保健・医療・福祉分野の技術拠点としての専門性の展開(情報発信、認知症・介護予防ツールの展開等)
- 民間の専門職、当事者や当事者に関わる関係者の連携による全市的な事業展開(ネットワークづくり)
- 地域・区役所にとっての拠点性の構築(地域・区役所への技術的な支援)
- 少子高齢社会に対応した新しい地域やコミュニティ形成への支援